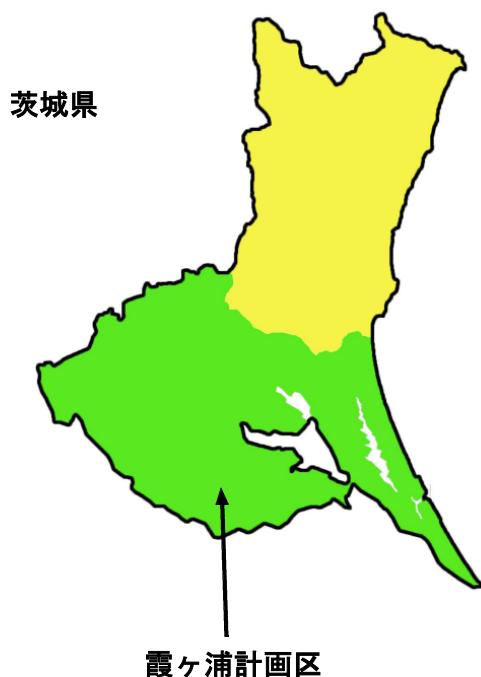


平成23年度に樹立・策定する霞ヶ浦計画区の概要

1 現行計画の概要



筑波山



(1) 森林計画の概要

ア 位置

当計画区は、茨城県の南部に位置する、23市6町1村にある国有林野4千haを対象。

イ 国有林の特徴

水郷筑波国定公園に指定され、優れた自然景観の維持及び保健休養の場として利用

ウ 森林資源の状況

- ・天然林が約1.5千ha、人工林が約2.3千ha。
- ・人工林のうち、約8割が間伐期（21年生～55年生）。

エ 機能類型別面積

水土保持林が約2.1千ha、森林と人との共生林が約1.4千ha、資源の循環利用林が約0.5千ha。

(2) 現行計画の概要

ア レクリエーションの森

森林ｽﾎﾟｰﾂ林	1箇所	112 ha
----------	-----	--------

イ 国民参加の森づくり

木の文化を支える森	5 ha
ボランティアの森	31 ha

ウ 伐採・保育事業量

主伐	16,034 m ³
間伐	21,690 m ³
造林	26 ha
下刈	62 ha
つる切	22 ha
除伐	51 ha



梅林（筑波山）

エ 林道の事業量

林道開設	1路線	1,000 m
林道改良	3路線	600 m

オ 治山の事業量

溪間工・山腹工	3箇所
保安林整備	347 ha



カタクリの花（筑波山）

2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養のほか、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策やそれ以外の公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (3) 希少野生生物の保護対策を推進。
- (4) ボランティア団体などによる森林づくりへの支援。
- (5) 治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
- (6) 路網と高機能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業の普及。

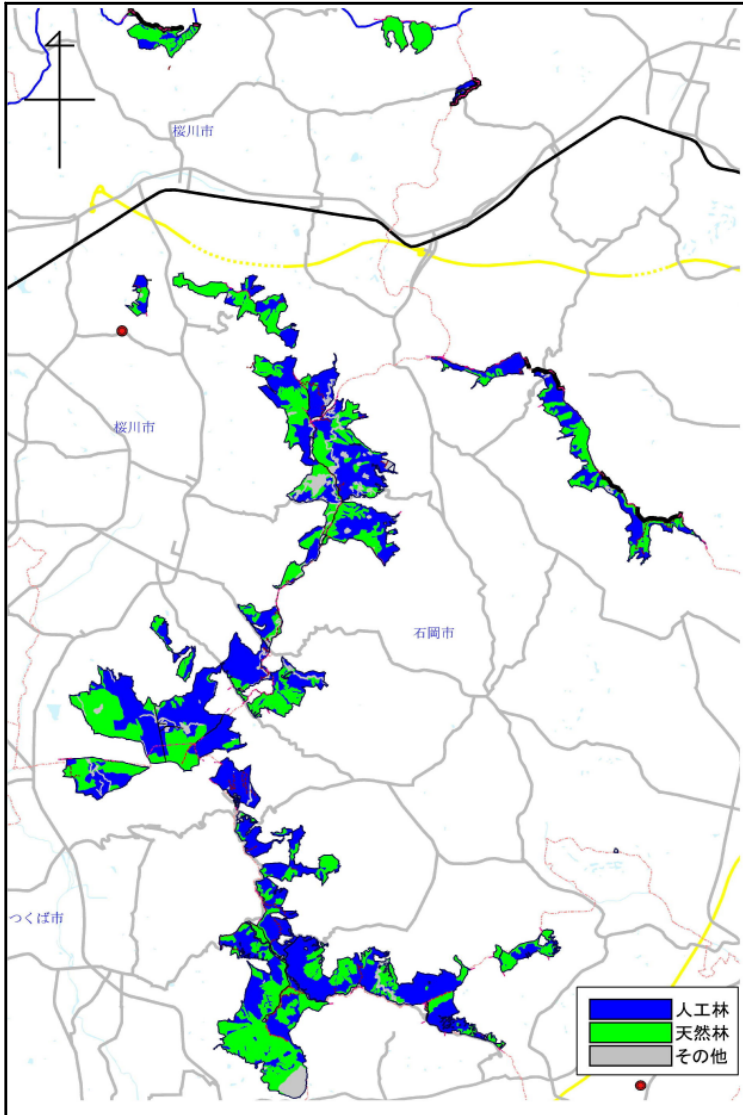
市町村別森林面積等

市町村名	市町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)
土浦市	11,382	1,289	108	11	8
古河市	12,358	927	-	8	-
石岡市	21,338	7,810	1,682	37	21
結城市	6,584	256	-	4	-
龍ヶ崎市	7,819	642	-	8	-
下妻市	8,088	323	-	4	-
取手市	6,996	252	-	4	-
牛久市	5,889	1,110	-	19	-
つくば市	28,407	4,063	657	14	16
鹿嶋市	9,296	1,375	-	15	-
潮来市	6,267	844	-	13	-
守谷市	3,563	216	-	6	-
坂東市	12,318	1,165	-	9	-
稲敷市	17,812	1,632	-	9	-
筑西市	20,535	971	-	5	-
かすみがうら市	11,877	2,060	142	17	7
神栖市	14,724	465	-	3	-
行方市	16,633	3,582	-	22	-
桜川市	17,978	7,459	1,453	41	19
鉾田市	20,390	4,335	-	21	-
常総市	12,352	599	-	5	-
つくばみらい市	7,914	585	-	7	-
小美玉市	14,021	2,134	-	15	-
美浦村	3,403	482	-	14	-
阿見町	6,497	1,113	-	17	-

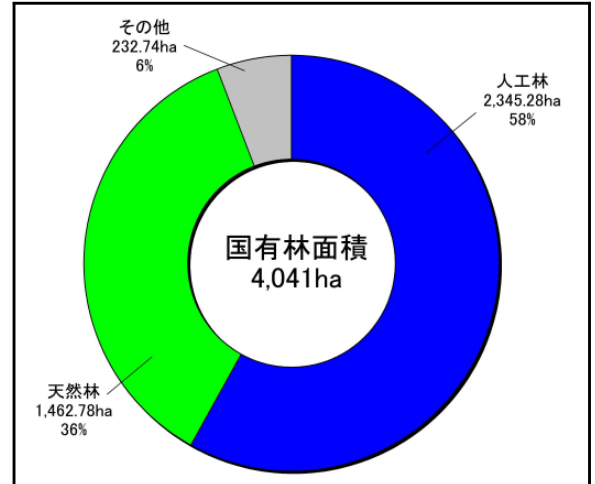
市町村名	市町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)
河内町	4,432	0	-	0	-
八千代町	5,910	210	-	4	-
五霞町	2,309	23	-	1	-
境町	4,658	248	-	5	-
利根町	2,490	58	-	2	-
計	324,240	46,228	4,041	14	9

人工林・天然林

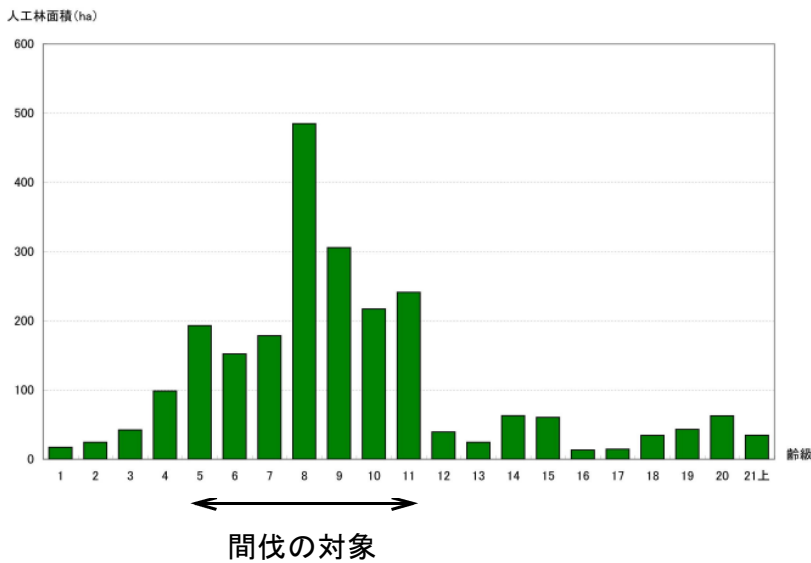
人工林・天然林の分布状況



人工林・天然林別割合



人工林の齢級別面積



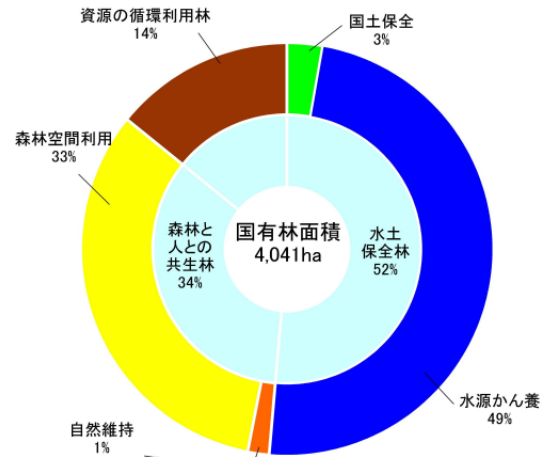
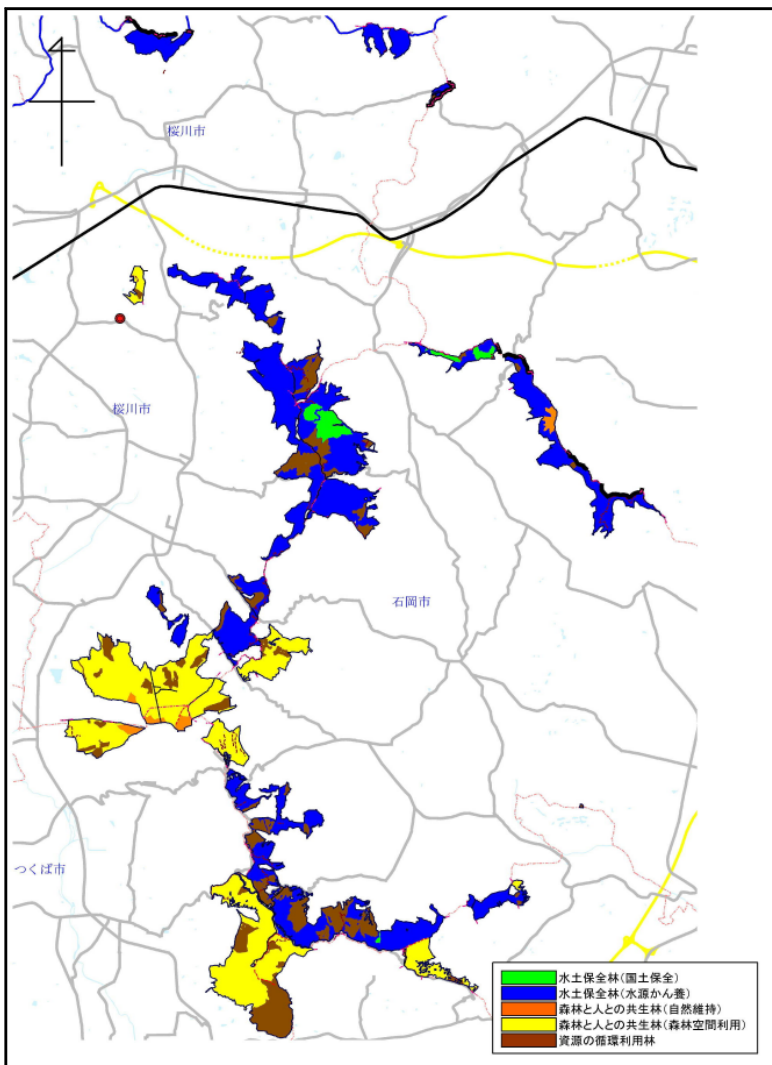
人工林の齢級別では5齢級（21年生）～11齢級（55年生）が多く、間伐適期となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

機能類型

機能類型区分について

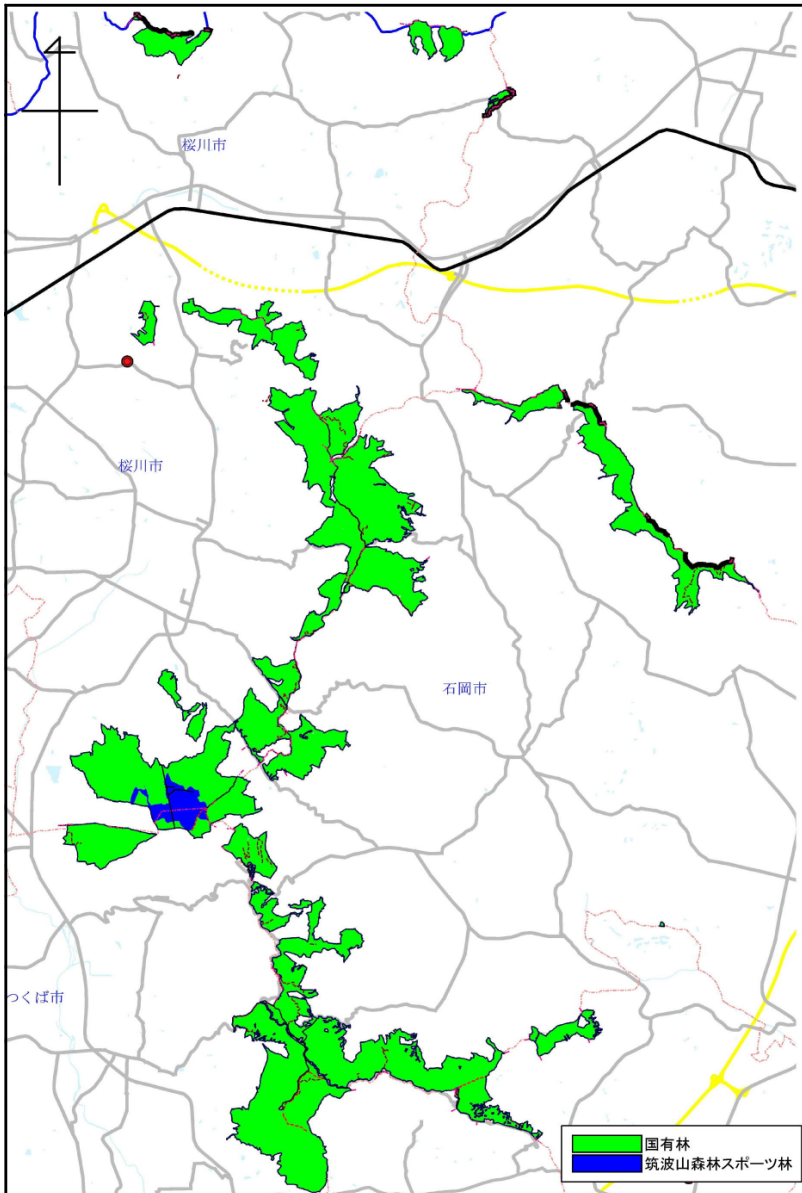
国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進



当計画区の機能類型は、水土保持林52%、（国土保全タイプ3%、水源かん養タイプ49%）、森と人との共生林34%（自然維持タイプ1%、森林空間利用タイプ33%）、資源の循環利用林14%となっています。

レクリエーションの森概要



筑波山森林スポーツ林キャンプ場

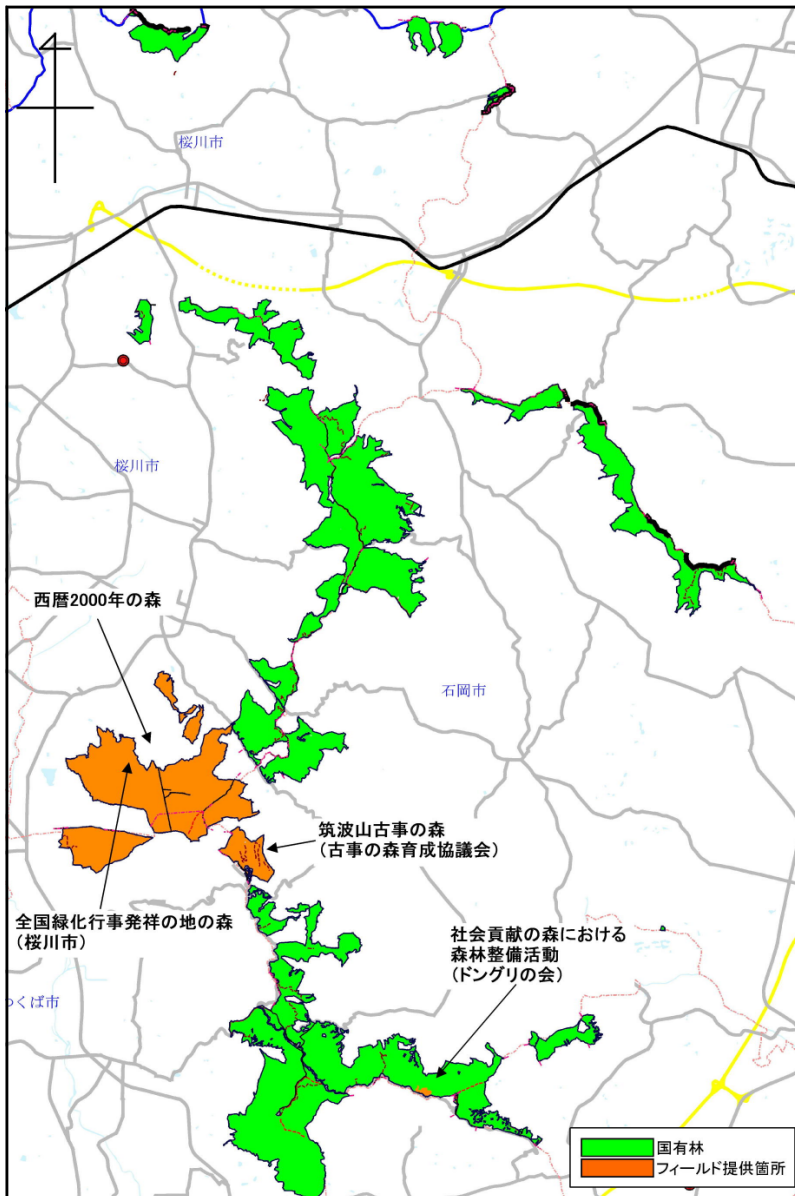


筑波山森林スポーツ林内

名称	特徴	面積(ha)
森林スポーツ林	森林を主体とする野外スポーツの場として適した地域	112

国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。



西暦2000年の森	853ha
筑波山古事の森	5ha
全国緑化行事発祥の森	28ha
自然と共生した新しい文化の森林整備活動	3ha



全国緑化行事発祥の地の森



筑波山古事の森での下刈作業